

MODEL 510 Series Fixed Position Multi-drop Terminal

取扱説明書



改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	Feb. 2005（初版）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。5. 運用した結果の影響について、2項にかかわらず責任を一切負いかねます。 |
|---|

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より 1 年とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。

但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

1. 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
2. 故障の原因が納入者以外の事由に場合
3. 外装部品の損傷
4. インターフェイスケーブルの破損・損傷
5. 需要者側で改造・修理を行った場合
6. 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「FCC に関する注意」

FCC Class A

本装置は、米国通信規制 FCC クラス A に適合しており、商業環境下での使用において適切な保護措置がなされています。しかし、住宅地域での使用ではテレビやラジオ等の受信障害が起こる場合があります。

「修理」

修理は全てセンドバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「その他」

1. 納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。
2. 本製品は台湾製です。

安全上のご注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



警告

■本装置を絶対に分解しないで下さい。 ・故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物と近くなでは使用しないで下さい。 ・故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引張ったりしないで下さい。 ・ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。 ・火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のままで使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにしコネクタを抜いて下さい。 ・感電（火災）の原因になります。





注意

■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。

・故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。

・故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。

・故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。

・装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。

・不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。

・ケースの変形や変色の原因になります。



目次

1.	はじめに	1.1
1.1	ご使用上の注意	1.1
1.2	梱包内容の確認	1.1
1.3	外形寸法と各部名称	1.2
1.4	設置方法	1.3
2.	インターフェイスポート	2.1
2.1	COM1 - RS232C インターフェイスポート	2.1
2.2	COM2 - RS485 インターフェイスポート	2.2
2.3	COM3 - RS232C インターフェイスポート(AUX232)	2.3
2.4	READER1 - リーダインターフェイスポート	2.4
2.5	KBD - キーボードインターフェイスポート	2.5
3.	RS485 マルチドロップネットワーク	3.1
3.1	RS485 マルチドロップネットワークの概要	3.1
3.2	RS485 マルチドロップネットワークの配線	3.2
補足 A	仕様	A.1
補足 D	修理依頼書	A.3

Blank page

1. はじめに

この度は、弊社 510 シリーズ ネットワークターミナル(以下、510 シリーズ)をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この説明書は、本装置の基本的な使用方法について説明しております。
ご使用になれる前に必ずお読みください。

1.1 ご使用上の注意

本装置は精密な電子部品で構成されていますので、絶対に分解しないでください。本装置が万一故障した場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

1.2 梱包内容の確認

本装置の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

(梱包内容)

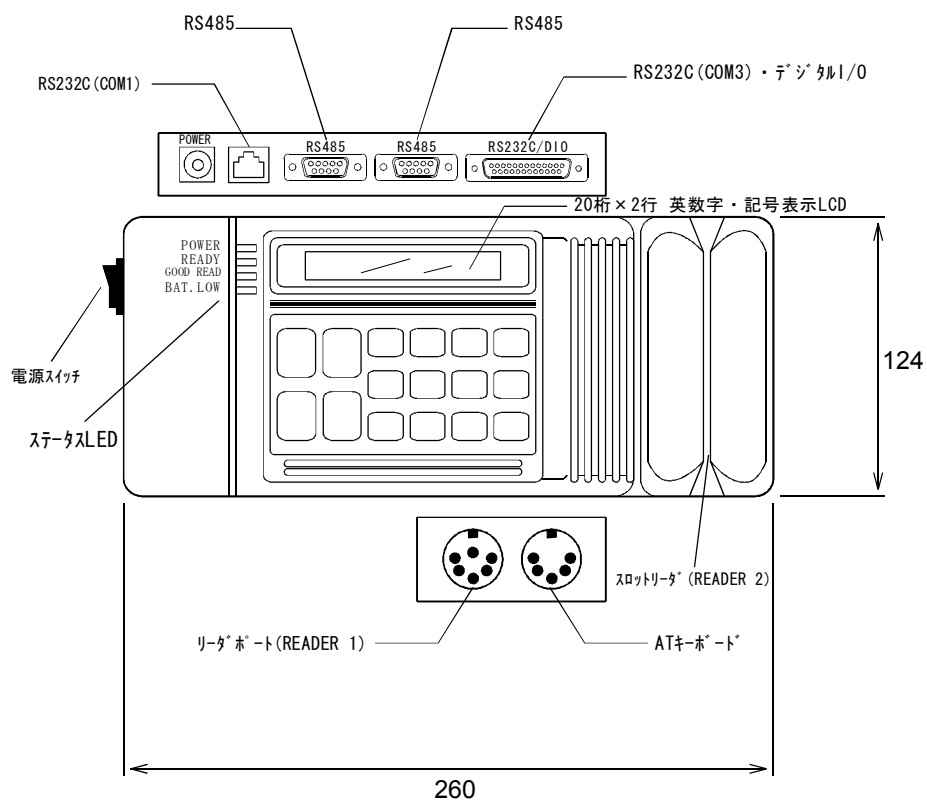
◆ 510 シリーズ ターミナル	1 台 *
◆ RS232C インターフェイスケーブル(COM1)	1 本
◆ AC アダプタ	1 個
◆ DIN/Mini-Din キーボードポート変換コネクタ	1 個
◆ マスターカード(磁気カード又はバーコードカード)	1 枚
◆ 取扱説明書(本書)	1 部

* 510 シリーズには標準ソフトウェア又はお客様ご希望の専用ソフトウェアがインストールされています。

梱包箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。大切に保管してください。

1.3 外形寸法と各部名称

下記に 510 シリーズ の外形寸法と各部名称を示します。

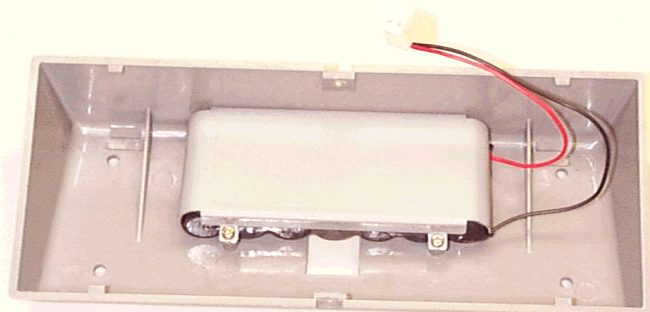


1.4 設置方法

510 シリーズはデスクトップ設置とウォールマウント設置の両方に対応しています。下記を参照にして、設置を行ってください。



ウォールマウント設置/デスクトップ設置の切り替えは、510 シリーズの背面のバッテリーホルダーを一旦取り外し、設置方法に合わせて、再度バッテリーホルダーを取り付けます。この時、取付方法に合わせて、バッテリーの方向も調整してください。

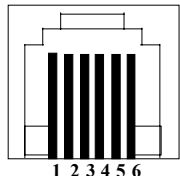


Blank page

2. インターフェイスポート

2.1 COM1 - RS232C インターフェイスポート

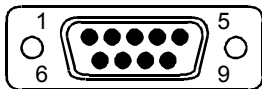
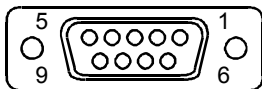
COM1 は、ホスト PC とのコミュニケーションに使用する RS232C インターフェイスポートです。標準で約 1.5m の RS232C インターフェイスが付属していますので、そちらをご利用ください。
下記にピン配列を示します。

COM1 - RS232C インターフェイスポート		
モジュラ 6 ピン メスコネクタ (本体側)		
ピン番号	信号名	
1	N/C	
2	GND	
3	RTS	
4	CTS	
5	RxD	
6	TxD	

2.2 COM2 – RS485 インターフェイスポート

COM2 は、マルチドロップネットワークに使用する RS485 インターフェイスポートです。
下記にピン配列を示します。

COM2 – RS485 インターフェイスポート		
Dsub 9 ピン オス/メスコネクタ (本体側)		
ピン番号	信号名	
1	GND	
2	DATA -	
3	DATA +	
4	N/C	
5	N/C	
6	N/C	
7	N/C	
8	N/C	
9	DC5V 出力	

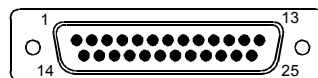
Dsub 9 ピン オス

Dsub 9 ピン メス

2.3 COM3 - RS232C インターフェイスポート(AUX232)

COM3 は、RS232C デバイスとコミュニケーションを行うために用意された補助 RS232C インターフェイスポートです。このインターフェイスポートには、RS232C インターフェイスの他、デジタル I/O も提供されています。下記にピン配列を示します。

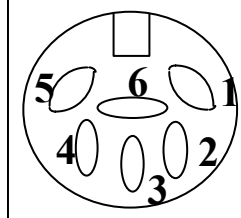
COM3 - RS232C インターフェイスポート(AUX)		
Dsub 25 コネクタ (本体側)		
ピン番号	信号名	
1	N/C	
2	TxD	
3	RxD	
4	RTS	
5	CTS	
6	N/C	
7	GND	
8	N/C	
9	Output 0 Emitter	
10	Output 0 Collector	
11	Output 1 Emitter	
12	Output 1 Collector	
13	Input 0 Cathode	
14	Input 0 Anode	
15	Input 1 Cathode	
16	Input 1 Anode	
17	N/C	
18	N/C	
19	N/C	
20	N/C	
21	N/C	
22	N/C	
23	N/C	
24	N/C	
25	DC5V 出力	



2.4 READER 1 - リーダインターフェイスポート

READER 1 は、デコーダ非内蔵型又はワイド出力型バーコードリーダーを接続するリーダーインターフェイスポートです。下記にピン配列を示します。

READER 1 - リーダインターフェイスポート		
DIN 6 マスコネクタ (本体側)		
ピン番号	信号名	
	バーコードリーダー	
1	DC5V 出力	
2	Data	
3	GND	
4	Switch	
5	Start of Scan	
6	Power Enable	

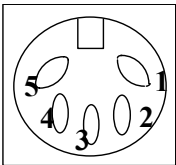


【参考】

510 シリーズ本体に取り付けられているリーダーは、READER 2 となります。

2.5 KBD - キーボードインターフェイスポート

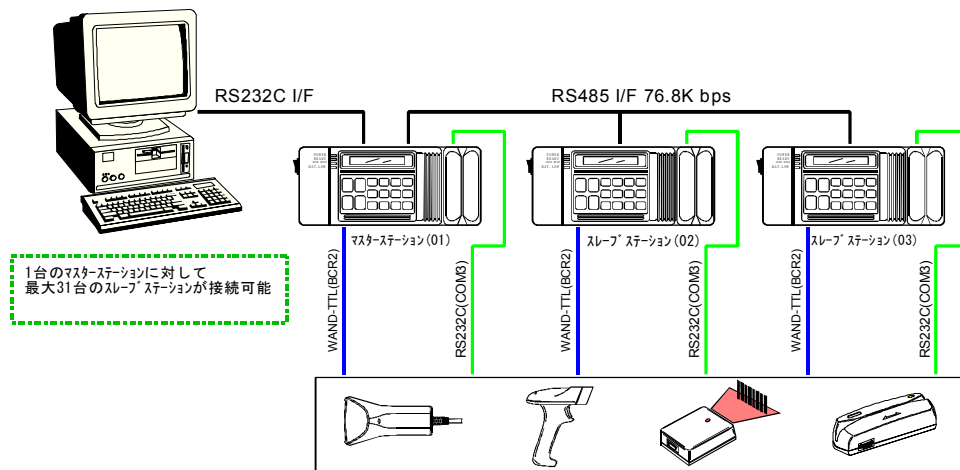
KBD は、標準 AT キーボードを接続するキーボードインターフェイスポートです。
下記にピン配列を示します。

KBD - キーボードインターフェイスポート		
DIN5 メスコネクタ (本体側)		
ピン番号	信号名	
1	Clock	
2	Data	
3	N/C	
4	GND	
5	DC5V 出力	

Blank page

3.1 RS485 マルチドップネットワークの概要

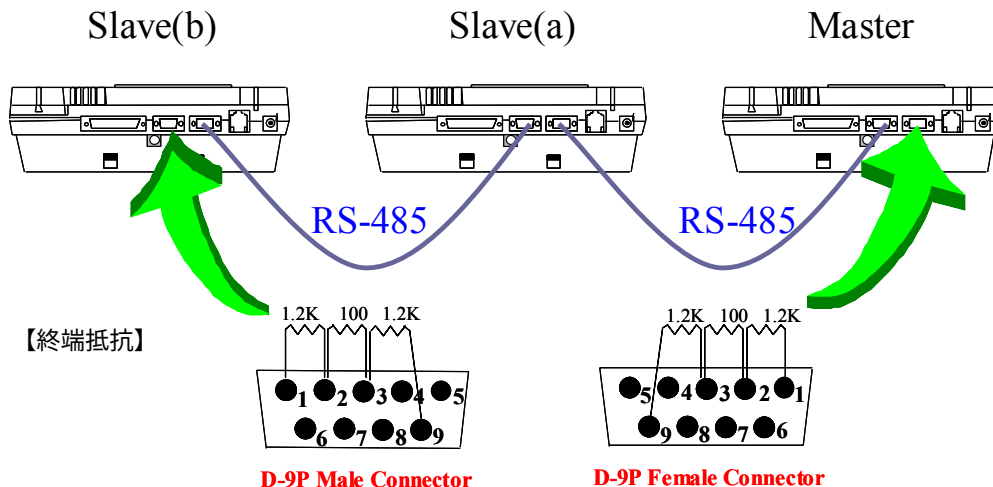
下記にマルチ^ロップ^プネットワークの構成例を示します。



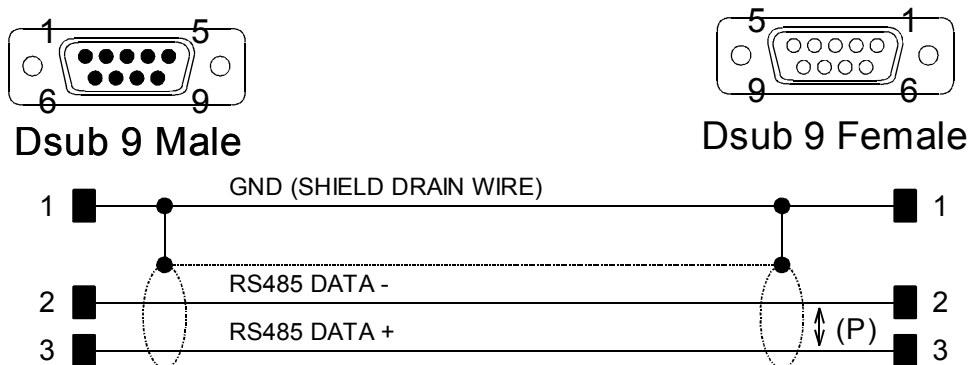
3.2 RS485 マルチドロップネットワークの配線

RS485 マルチドロップネットワークの配線には、高品質なシールド付ツイストペアケーブルを使用しなければいけません。また、先頭と最後の 510 シーズに終端抵抗をセットする必要があります。

下記に配線例を示します。



【RS485 ケーブル】



補足 A 仕様

下記に 510 シリーズの仕様を示します。

項目	仕様
入力電圧	DC12V $\pm 5\%$ (専用 AC アダプタ)
消費電力	200mA max. (LCD バックライトオフ時・外部デバイスを除く)
バッテリー	メイン 1.2V x 7, 14000mA NiCd サブ 3.6V, 60mA NiCd メモリ・カレンダーバックアップ用
メモリ	プログラム 128KB フラッシュメモリ データ 128KB/512KB SRAM 3.6V NiCd によるバックアップ付
インターフェイス	RS232C x 2, RS485, DIO 各 2 点, スキャナポート x 1, AT キーボード x 1
マルチドロップ	接続 マスター/スレーブ 接続 ポートレート 75Kbps ステーション 32 ステーション max.
インディケータ	ブザー, LED
LCD	20 桁 x 2 行 LCD
接続スキャナ	ハンズスキャナ, タッチスキャナ, レーザスキャナ
動作温度	0 °C ~ +50 °C
保管温度	-20 °C ~ +70 °C
湿度	20% ~ 90% 結露無し
外形寸法	261 x 125 x 100 mm
重量	1kg
ケース材質	ABS 樹脂
EMC 規格	FCC class A 準拠, CE 準拠

Blank page

